呉工業高等専門学校	本科留学生科目	開講年度	令和03年度 (2021年度)

学科到達目標

本科の学習・教育目標

(HA)豊かな教養と国際性の修得

(HB)工学に関連する基礎知識の修得

(HC)専門分野の課題に対応できる能力の修得

(HD)社会のニーズを捉え、創造的に課題に対応できる能力の修得

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分
						1年				2年				3年				4年				5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後		前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	選択必修	日本語・日本事情Ⅰ	0004	履修単位	4									4	4											道法 愛	
専門	選択必修	建築学演習	0001	履修単位	1									2												大和 義昭	
専門	選択必修	環境工学演習	0002	履修単位	1									2												堀口 至	
専門	選択必修	電気工学演習	0003	履修単位	1									2												田中 誠,横瀬 義雄	
専門	選択必修	機械工学演習	0005	履修単位	1									2												山田 祐士	
一般	選択必修	日本語・日本事情Ⅱ	0006	履修単位	2													2	2								

呉工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	日本語・日本事情 I

科目基礎情報

科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 4
開設学科	本科留学生科目	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	4
教科書/教材	日本語能力試験問題集，日本留学試験対策記述問題テーマ１００，留学生の日本語（論文読解編），日本を話そう他		
担当教員	道法 愛		

到達目標

１．日本語能力試験のN1～N2程度の能力（読む・書く・聞く・話す）を身につける
２．日本社会，文化，生活について，座学及びフィールドワークを通じて，理解を深める
３．専門科目にも応用できる幅広い視野，知識を持てるよう，日本語を通じて学習能力を高める。
４．一般的な小論文が書けるよう，作文能力を伸ばす。
５．文集「随想」の作成を通じて，正しく理論的な文章を書く力，編集能力を養う。
６．日本語能力試験受験を積極的に勧め，合格へ導く。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	日本社会，文化，生活について，座学及びフィールドワークを通じて，詳細に理解できる	日本社会，文化，生活について，座学及びフィールドワークを通じて，理解できる	日本社会，文化，生活について，座学及びフィールドワークを通じて，理解できない
評価項目2	専門科目にも応用できる幅広い視野，知識を持てるよう，日本語を通じて学習能力をより高めることができる。	専門科目にも応用できる幅広い視野，知識を持てるよう，日本語を通じて学習能力を高めることができる	専門科目にも応用できる幅広い視野，知識を持てるよう，日本語を通じて学習能力を高めることができない
評価項目3	正しく理論的な文章を書く力，編集能力を身につけることができる	正しく理論的な文章を書く力，編集能力がある程度身につけることができる	正しく理論的な文章を書く力，編集能力を身につけることができるない

学科の到達目標項目との関係

本科の学習・教育目標 (HA)

教育方法等

概要	一般的な日本語運用能力の習得，向上，更に専門科目を学習するために必要なより高度な読む・書く・聞く・話すの総合的な力を養う。特に大学進学，就職に必須な論文作成能力を養う。
授業の進め方・方法	講義，レポート，作文，現地訪問
注意点	特になし

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		2週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		3週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		4週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		5週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		6週	問題集例題を解く	日本語能力試験問題集，漢字・語彙・読解
		7週	中間試験	
		8週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／過去の試験問題
	2ndQ	9週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／過去の試験問題
		10週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／過去の試験問題
		11週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／過去の試験問題
		12週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／公式問題集
		13週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／公式問題集
		14週	問題集例題を解く，過去の試験問題を解く	日本語能力試験問題集，文法・聴解／模擬試験問題
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	
後期	3rdQ	1週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	日本留学試験対策記述問題テーマ１００／漢字・文法練習問題／作文
		2週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　学校・教育
		3週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　学校・教育
		4週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　くらし・生き方
		5週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　くらし・生き方
		6週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　文化・異文化・国際化
		7週	小論文を読んでみる／漢字・文法／随想作文	テーマ　文化・異文化・国際化
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	文集「随想」作成	作文を書く／漢字・読解練習問題
		10週	文集「随想」作成	作文を書く／漢字・読解練習問題
		11週	文集「随想」作成	作文を書く／漢字・読解練習問題

		12週	文集「随想」作成	作文を書く／漢字・読解練習問題
		13週	文集「随想」作成	ワードを使ってレイアウトする／漢字・読解練習問題
		14週	文集「随想」作成	ワードを使ってレイアウトする／漢字・読解練習問題
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却，解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

呉工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	建築学演習

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	本科留学生科目	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	プリント等配布		
担当教員	大和 義昭		

到達目標

建築学に関する基礎科目（本科1，2年で学習する内容を含む）の基礎事項を理解し，説明することができる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	建築学の基礎事項について説明することができ，関連した応用計算ができること.	建築学の基礎事項について説明することができ，関連した計算ができること.	建築学の基礎事項について説明することができない.

学科の到達目標項目との関係

本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	建築学の基礎科目（本科1，2年で学習する内容を含む）の基礎事項を演習形式で学ぶ.
授業の進め方・方法	配布プリントに従い授業を進める．適宜，計算問題や製作などの演習を含める.
注意点	レポート，課題計算を課せられた場合は，指示に従い期限までに提出すること.

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	建築学の基礎科目に関する演習	建築学の基礎科目の演習を行い，理解する.
		2週	〃	〃
		3週	〃	〃
		4週	〃	〃
		5週	〃	〃
		6週	〃	〃
		7週	〃	〃
		8週	〃	〃
	2ndQ	9週	〃	〃
		10週	〃	〃
		11週	〃	〃
		12週	〃	〃
		13週	〃	〃
		14週	〃	〃
		15週	〃	〃
		16週	〃	〃

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	演習・レポート課題評価	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0

呉工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	環境工学演習

科目基礎情報

科目番号	0002	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	本科留学生科目	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	プリント等配布		
担当教員	堀口 至		

到達目標

環境都市工学に関する基礎科目（本科1～3年で学習する内容）の基礎事項を理解し、説明することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	環境都市工学の基礎事項について説明することができ、関連した応用計算ができること。	環境都市工学の基礎事項について説明することができ、関連した計算ができること。	環境都市工学の基礎事項について説明することができない。

学科の到達目標項目との関係

本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	環境都市工学の基礎科目（本科1～3年で学習する内容）の基礎事項を演習形式で学ぶ。
授業の進め方・方法	配布プリントに従い授業を進める。適宜、計算問題や製作などの演習を含める。 【新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。】
注意点	レポート、課題計算を課せられた場合は、指示に従い期限までに提出すること。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	環境都市工学の基礎科目に関する演習	環境都市工学の基礎科目の演習を行い、理解する。
		2週	〃	〃
		3週	〃	〃
		4週	〃	〃
		5週	〃	〃
		6週	〃	〃
		7週	〃	〃
		8週	〃	〃
	2ndQ	9週	〃	〃
		10週	〃	〃
		11週	〃	〃
		12週	〃	〃
		13週	〃	〃
		14週	〃	〃
		15週	〃	〃
		16週	〃	〃

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	演習・レポート課題評価	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0

呉工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	機械工学演習

科目基礎情報

科目番号	0005	科目区分	専門 / 選択必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	本科留学生科目	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	プリント等配布		
担当教員	山田 祐士		

到達目標

機械工学（物理学，化学，材料学，工業力学，機械設計製図，機構学，ものづくり，電気工学）に関する基礎演習を含めて基礎事項を理解し，説明することができる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	機械工学の基礎事項について説明することができ，関連した応用計算ができること.	機械工学の基礎事項について説明することができ，関連した計算ができること.	機械工学の基礎事項について説明することができない.

学科の到達目標項目との関係

本科の学習・教育目標 (HC)

教育方法等

概要	機械工学分野に所属する全教員が，機械工学（物理学，化学，材料学，工業力学，機械設計製図，機構学，ものづくり，電気工学）に関する基礎演習を含めて基礎事項を学ぶ.
授業の進め方・方法	配布プリントに従い授業を進める．適宜，計算問題や製作などの演習を含める.
注意点	レポート，課題計算を課せられた場合は，指示に従い期限までに提出すること.

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	機械工学（物理学，化学，材料学，工業力学，機械設計製図，機構学，ものづくり，電気工学）に関する基礎演習	機械工学（物理学，化学，材料学，工業力学，機械設計製図，機構学，ものづくり，電気工学）に関する基礎演習を実践し，理解する.
		2週	〃	〃
		3週	〃	〃
		4週	〃	〃
		5週	〃	〃
		6週	〃	〃
		7週	〃	〃
		8週	〃	〃
	2ndQ	9週	〃	〃
		10週	〃	〃
		11週	〃	〃
		12週	〃	〃
		13週	〃	〃
		14週	〃	〃
		15週	〃	〃
		16週	〃	〃

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	演習・レポート課題評価	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0